



題字…今山政二郎氏

発行所
新潟県小学校長会広報部
新潟市中央区幸西3-3-1
じょいあす新潟会館2階
TEL 025-290-2231
FAX 025-245-6060
E-mail: nkskko@nigata-inet.or.jp
印刷所 株式会社 文久堂
カット…永井 高志
(新潟 越前小学校)



実践を意味付け 業務を改善する

新潟県小学校長会 副会長

柳 恒雄

十二月末に、学習指導要領の改訂に関する中央教育審議会の答申がありました。某誌には、膨大な分量であり、現場には答申を読む余裕があるのか、要求水準が高く、現場が対応しているのかというコメントがありました。

これに共感しつつ、答申第一部第十章の学習指導要領等の実施に必要な諸条件の整備「業務の適正化」に着目しました。一月六日の学校現場における業務の適正化に関する大臣メッセージにも着目。これらは最近注目の働き方改革と併せて一連のものでしょうか。

このほど愛知県の多忙化解消プロジェクトチームがまとめた提言で目に留まったのは、「学校経営案には教育目標とは別に具体的な業務改善に関する目標を明記すべき」ところでした。

そこで、私の学校経営方針で示している「仕事は楽しく」の趣旨を、次のように強調してみたいと考えました。

一つには、職員一人一人の出退勤簿をPC上で閲覧できるようにすることで、周りに遠慮なく退勤できるようにになります。効率よく仕事をする職員に学ぼうとする雰囲気も出てきます。

二つには、市の事業「温かい学級づくり」を優先することで、職員は安心して実践できるようになります。毎月のソーシャルスキルの全校集会の準備でチームワークのよさが発揮されます。

三つには、「やりたいことを声に出す。周りはこれを認め、成果が見えたら賞賛の声をかける。楽しくなかったら仕事ではない。」とすることで、課題山積の日々でも笑顔が見られます。

校長は校内職員の誰よりも先に答申を理解する必要があります。職員には「あなたがやりたいことは答申の趣旨と同じだから、安心してやってもらいなさい。」と励ましの声をかけていきたいものです。

全連小 提案発表

全連小高知大会・分科会十一「社会形成能力」提案発表
米百俵の精神を受け継ぐ
「熱中！感動！夢づくり教育」を核とした教育課程の具現

長岡市立栃尾東小学校

社会の発展に貢献する人材に必要な資質・能力は、「共生・共働できる心」と「智力」である。学びで得られた知識と知恵をフルに活用し（智力）、共働して困難な課題も解決していく人材を育てたい。

一 学校・地域の課題

栃尾地域は、少子高齢化・過疎化が著しく、活性化と存続が大きな課題である。このふるさとを愛し、受け継いでいこうとする人材を育てていくことが当校の存在意義でもある。

二 「熱中！感動！夢づくり教育」

長岡市は、「ふるさと長岡への愛着や誇りを土台に、社会に貢献できる資質・能力を育てる」方策として、「熱中！感動！夢づくり教育」を施策の中心に置いている。総事業費五千四百万円の事業を自校の教育に有効活用することが校長に求められている。

三 「WE LOVE 栃尾 来て見てふるさと」の「ひと・もの・こと」と

「WE LOVE 栃尾 来て見てふるさと」の「ひと・もの・こと」と

関わる体験を通してよさを知る。一方で切実な課題を認識しながら、「ふるさと」の未来や自分たちにできること

を考え実行していくのが夢企画「WE LOVE 栃尾」である。

○全校街中ウォーク…縦割り班で街中を歩き、人と話し、考え、食し、楽しむ。

○六年総合…自分たちが感じたふるさとのよさを発信し、街に人を呼び込むイベントを行う。自分の生き方について考える。

主な活動

子どもたちがふるさとのよさを知らない。原風景がない。これでは、ふるさとを想う子どもは育たない。

この危機感からスタートし三年が経過した。企画をゼロから創り上げることは、忙しい職員には難しい。一年目は校長自ら関係者と話し合い、道を付けた。今では職員が知恵を出し、よりよい活動にしている。

四 「仕掛ける・続ける・熱くなる」

学校の特色と育てたい子ども像を職員と共有し、熱い想いを注ぎ、形づくる。それを教育課程に位置付けて継続する。困難は多くとも、意欲をもって取り組む熱い組織づくりこそ、校長の仕事である。



全校街中ウォーク

